

● 島根県保育三団体会議

島根県保育三団体は、三団体会議をもとに、11月19日、島根県保育振興議員連盟総会に出席した後、県健康福祉部長並びに県議会議長へ陳情しました。また11月22日には、県知事へ陳情し、次のことについて要望しました。

【平成19年度要望項目】

1. 国に対する要望について
 - ① 民間保育所運営費等の現行制度の堅持
 - ② 交付金の改善
 - ③ 多様な保育ニーズに応えるための人為確保
 - ④ 調理室必置義務の堅持
2. 過疎地における保育所対策について
 - ① 民間保育所運営対策事業の拡充
3. 各種保育施策について
 - ① 県単独補助制度「しまね子育て総合支援事業」の堅持
 - ② 障がい児保育事業の補助対象児童数の見直し
4. 認定こども園に関して
 - ① 認定こども園の認定に際しては第1類型を基本とする

◇ 全私保連予対請願集会

11月29日、東京・海運ビル（日本海運クラブ）にて、平成19年度予対請願集会並びに“少子社会の保育を語る集い”がありました。

島根私保連から古川会長、志田尾予対部長・堀江予対副部長が出席し、請願集会後には島根県選出の国会議員事務所を訪問して陳情活動を展開し、少子社会の保育を語る集いに出席しました。

◆ 職員研修会

島根私保連研修部の第3回研修会は、12月5日(水)に出雲・ウェルシティ島根において、また翌6日(木)に浜田・いわみーるにおいて、社会福祉法人会計研修を開催しました。

今回は、(株)幼保経営サービス取締役の菅野哲先生による「会計実務処理と法人運営について」の内容で、東部が67名(内、非加盟園3名)、西部が30名の参加がありました。

これで、予定していた今年度の研修会は無事終了しました。参加していただきましてありがとうございました。

● 島根青年会議の“出前”研修

11月8日～9日、島根青年会議は、今年度第2回目の出張型青年会議「“出前”研修」を益田市で開催しました。

今回は2日間に渡り、益田市の日保協青年部の先生方に協力をいただいて、益田ひかり保育所と吉田保育所を施設見学や意見交換会が行われました。各園での工夫された環境に刺激を受け、また少グループにわかれての意見交換会では大いに語り合い、実りのある研修のようでした。

青年会議からは15名参加があり、益田の日保協青年部からは10名の出席をいただいたようですが、団体を越えた若い仲間の良き交流ができたようです。